

台東区消防団運営委員会(第二回)

令和8年7月15日(水)10時30分
台東区役所7階 議会第三会議室

次 第

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 委員の紹介(資料1、2)

4 議事

- (1) 台東区消防団運営委員会(第1回)の審議結果(資料3)
- (2) 台東区消防団員のアンケート調査結果について(資料4、4-1)
- (3) 答申骨子(案)について(資料5)

5 審議予定(資料6)

6 閉 会

台東区消防団運営委員会名簿

	職	選出区分	氏名	備考
1	委員長	区長	はっとり ゆくお 服部 征夫	
2	委員	区議会議員	いしかわ よしひろ 石川 義弘	議長
3	//	//	はやかわ たろう 早川 太郎	環境・安全安心 特別委員会委員長
4	//	学識経験者	なかやま ひろゆき 中山 寛進	都議会議員
5	//	//	ほさか まさひろ 保坂 まさひろ	都議会議員
6	//	//	いまい よういち 今井 要一	上野防火防災協会会長
7	//	//	くろだ おさむ 黒田 収	浅草防火防災協会会長
8	//	//	すずき ちよこ 鈴木 千代子	日本堤防火協会会長
9	//	上野消防署長	くろさき きよたか 黒崎 清貴 ※	
10	//	浅草消防署長	せき まさゆき 関 政幸	
11	//	日本堤消防署長	さきおか かずや 笹岡 一弥	
12	//	上野消防団長	さとう あきひと 佐藤 明人	
13	//	浅草消防団長	にしい としひこ 西井 敏彦 ※	
14	//	日本堤消防団長	えのき いちろう 榎 一郎	

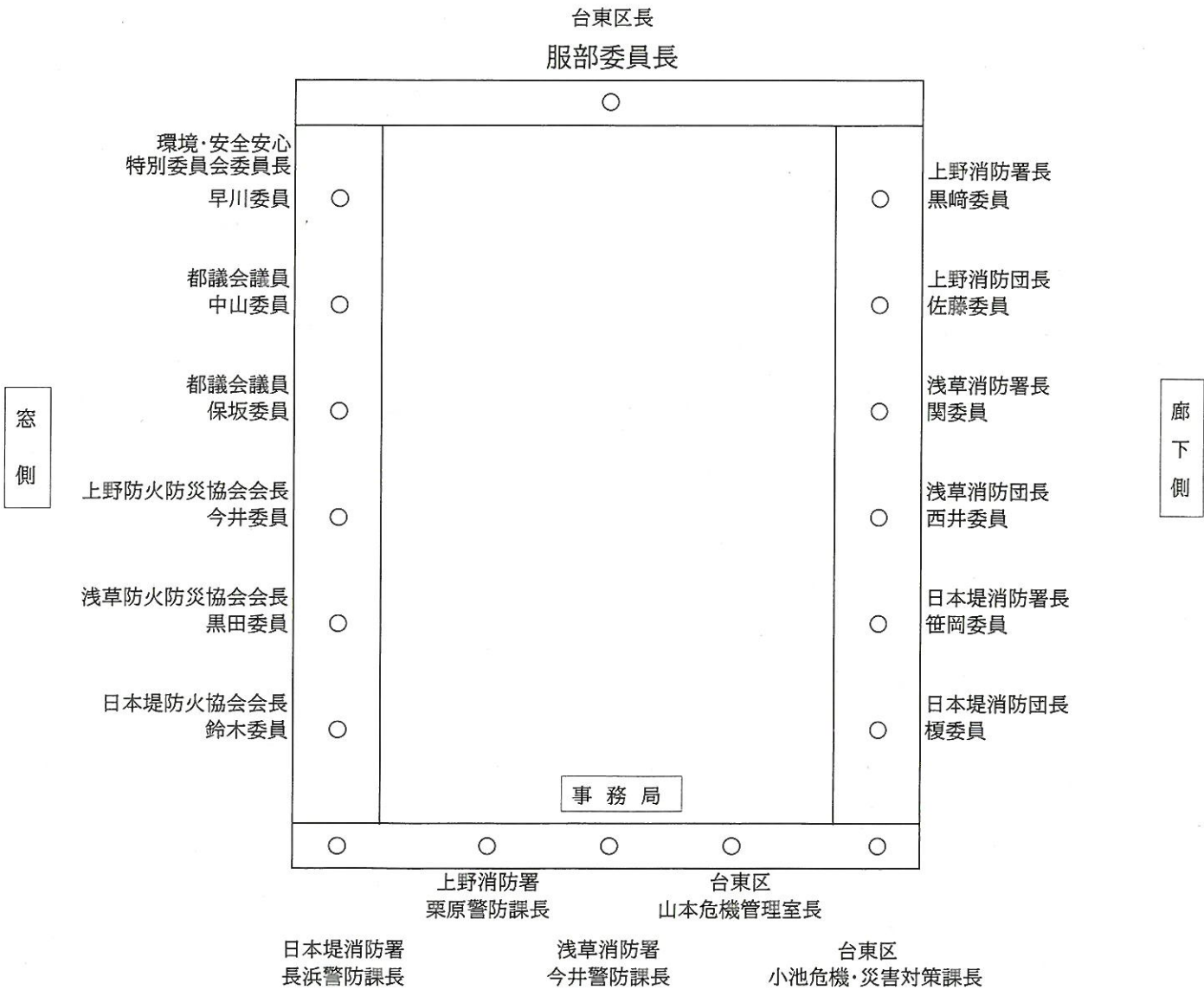
・委員長は「特別区の消防団の設置に関する条例」第7条、委員は同条例第5条により選出。

・委員の委嘱期間は、同条例第6条に基づき2年間とし、前委嘱期間終了日の翌日である令和7年8月29日から令和9年8月28日までとする。

なお、消防署長及び消防団長の委嘱期間は、在職期間とする。

※令和8年4月1日から新規委員

台東区消防団運営委員会(第二回) 席次
(議会第三会議室)



台東区消防団運営委員会（第1回）の審議結果について

諮問事項

切迫する首都直下地震に備え、効果的な活動の実現に向けた
災害活動力の継続的な強化方策について（審議期間：R7.7～R9.3）

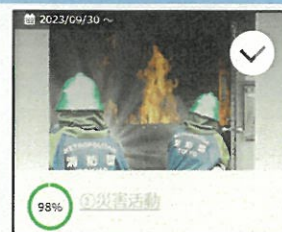
課題抽出・検討の方向性

課題1

消火活動の機会が減少、震災時の災害活動力は、訓練で高める必要がある。

【検討事項】 訓練の実効性を高めるには？

- ① 消防署と連携して訓練する。
- ② 消防隊の訓練施設を活用して訓練する。
- ③ 消防団自らが主体的に訓練する。
- ④ eラーニングを活用して訓練する。



課題2

区内3団とも消防団員数は定数に満たない。更なる入団促進が必要である。

【検討事項】 効果的な入団促進方策は？

- ① 知り合いや同僚への声かけする。
- ② イベントでの広報・声かけする。
- ③ 「広報たいとう」など発信力の強い広報をする。
- ④ リーフレットや消防団員カードを活用する。



課題3

資機材の軽量化やデジタル化など、更なる活動環境の最適化を図る必要がある。

【検討事項】 活動環境の最適化(改善)に有効な方法は？

- ① 資機材の機能性・利便性を高める。
- ② 防災訓練で地域防災力を高める。
- ③ 行事の見直しや統合等の工夫をする。
- ④ 電子化、情報共有ツールを整備する。
- ⑤ 区が推進する防災対策に参画する。



災害活動力の継続的な強化に向けたアンケート調査の結果

対象者と回答者

● 対象者

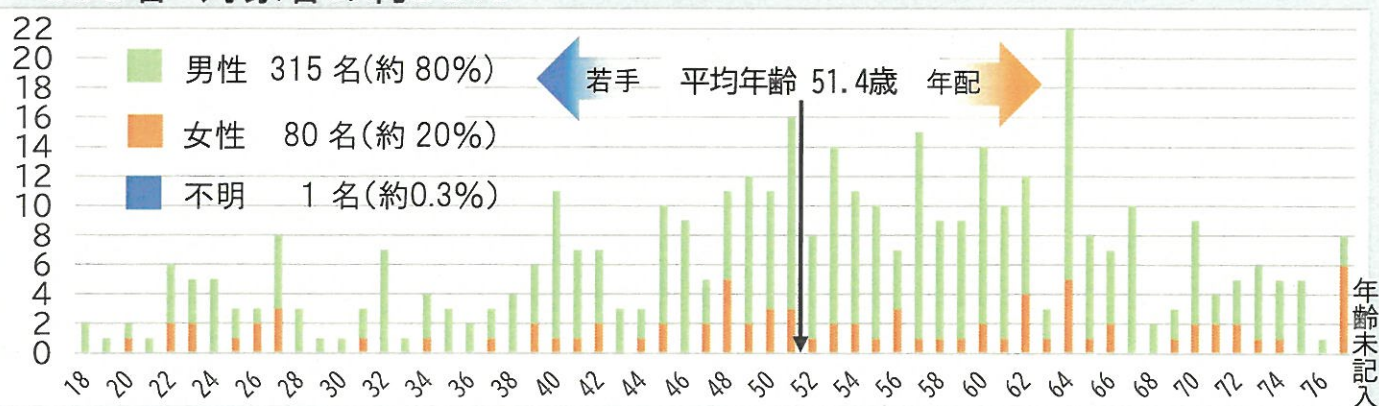
台東区内の3消防団に属する消防団員 480名※

内訳: 上野消防団 (235名)、浅草消防団員 (122名)、日本堤消防団員(123名)

※ 令和8年3月31日時点

● 回答者

396名 対象者の約83%



集計方法

● 回答をポイント化した後、合算し「有効と感じる度合」を測定(棒グラフ)

アンケート用紙

I 効率的に消防活動能力を向上させる訓練

1 次の(1)から(4)の訓練方法は、有効だと思いますか。

(1) 消防隊が使用する訓練施設を活用した訓練

1 非常に有効	→	2ポイント
② 有効	→	1ポイント
3 どちらとも言えない	→	0ポイント
4 有効でない	→	-1ポイント
5 まったく有効でない	→	-2ポイント

事務局案

ポイント化

(2) 消防署との連携した訓練

1 非常に有効

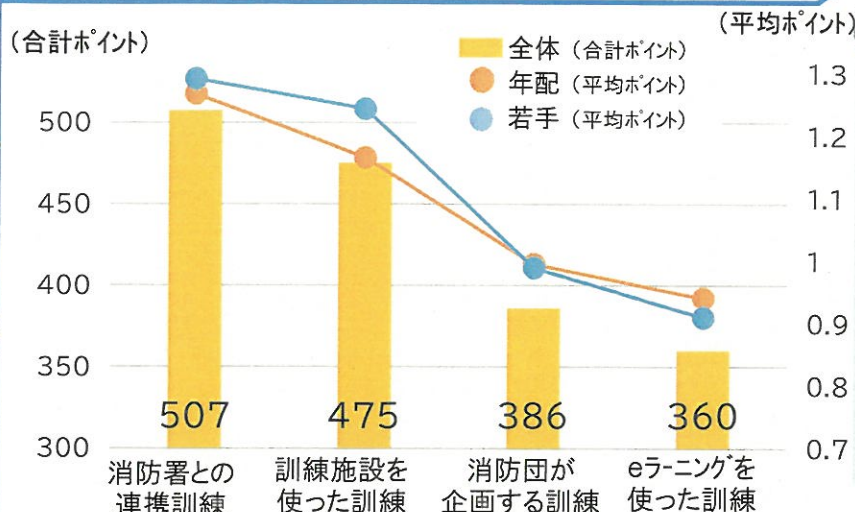
事務局案

● 年齢による回答の傾向を測定(折れ線グラフ)

平均年齢の51.4歳を境に「年配」(209人)と「若手」(179人)にグループ化し、それぞれの「有効と感じる度合」の平均値を比較することで、年齢層による回答の傾向を測定
(年齢・団員歴・性別による回答の傾向は、別紙のとおり)

集計結果

1 災害活動力の強化に有効な訓練方法は？



自由意見

【効果的な訓練方法】

- 町会や学校等との合同訓練 7名
- 過去の災害を踏まえた訓練 3名
- 解体建物を使った救助訓練 3名
- 車両や資機材の取扱訓練 3名

【eラーニングを使った訓練関係】

- eラーニングの動画教材の充実 2名

【アンケートの集計結果】

- 事務局が示した4つの訓練案は、いずれも「有効と感じる割合」が高い。
高い順に、①消防署との連携訓練、②訓練施設を使った訓練、③消防団が企画する訓練、④eラーニングを使った訓練
- 「訓練施設を使った訓練」について年配よりも若手の方が「有効と感じる割合」が高い。

【自由意見について】

○町会や学校等との合同訓練について

震災時には、地域住民との協働により、活動にあたることから、町会や学校等との合同訓練は、**災害活動力の強化にとっても有効**であると考えます。



○過去の災害を踏まえた訓練について

過去の震災から得られた教訓を訓練に活かすことは、**災害活動力の強化にとっても有効**であると考えます。



○解体建物を使った救助訓練について

実際の建物を使用した訓練であるため、**災害活動力の強化にとっても有効**であると考えます。



○車両や資機材の取扱訓練について

車両や資機材の取扱訓練といった基本的な訓練の継続が、**災害活動力の強化につながる**と考えます。

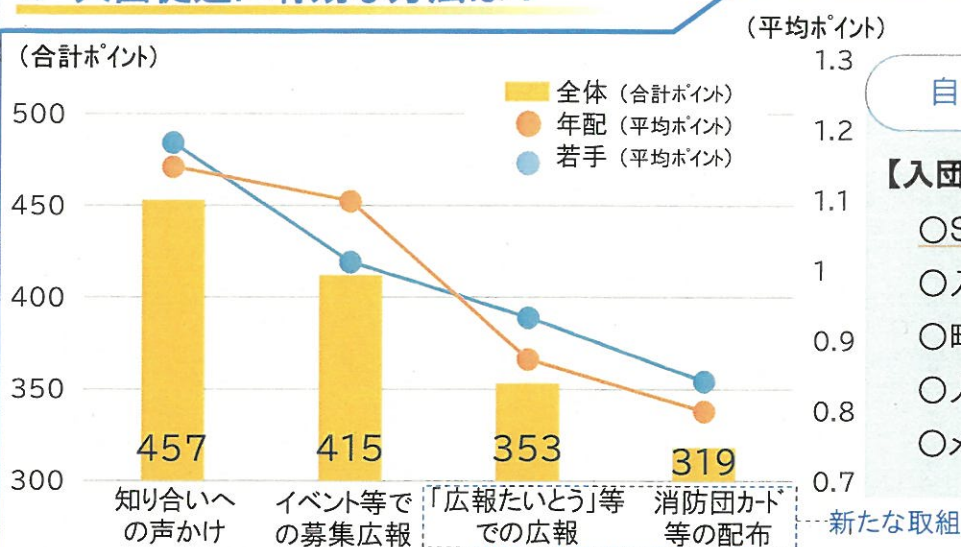


○eラーニングの動画教材の充実について

今年3月、eラーニングの動画教材に「消防団活動CG動画」が追加されるなど、今後も**ニーズを踏まえ、動画教材の充実**が図られます。



2 入団促進に有効な方法は？



自由意見

【入団促進に有効な方法】

- SNSを活用した入団促進 22名
- 入団体験を通じ入団を促進 6名
- 町会等に働きかけ入団促進 5名
- 人出の多い場所での入団促進 3名
- メディアを通じた入団促進 2名

【アンケートの集計結果】

- 事務局が示した4つの方法は、いずれも「有効と感じる割合」が高い。
高い順に①知り合いへの声かけ、②イベント等での募集広報、③「広報たいとう」等での広報、④消防団カード等の配布
- 従来から行っているイベント等での募集広報は、年配の方が有効性を感じる割合が高い。一方で「広報たいとう」や「消防団カード」といった新たな取組に関して、若手の方が「有効と感じる割合」が高い。

【自由意見について】

○ SNSの活用について

若年層の主な情報入手手段が SNS である傾向を踏まえ、**更なる活用を検討すべき**だと考えます。



○ 入団体験について

消防団活動の詳細に加え、やりがいや雰囲気が伝わりやすいため、**入団に繋がりがやすい**と考えます。
区内の消防署ではこの入団体験を推進していきます。



○ 町会等への働きかけについて

消防団は地域に密着した「地域防災力の中核」であることを踏まえ、地域の主体となる町会といったコミュニティへの働きかけは、**とても有効**だと考えます。

○ 人出の多い場所での入団促進について

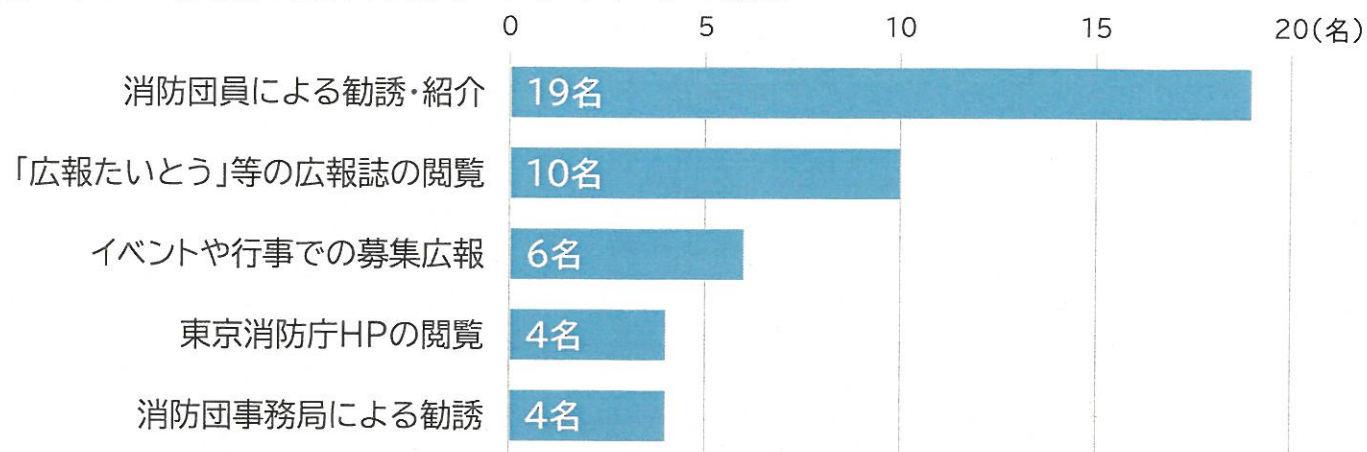
これまでの地域住民が集うイベントや行事の機会を捉え、入団促進を図っています。
この取組により**入団した消防団員もいる**ので、今後も継続していきたいと考えています。

○ メディアの活用について

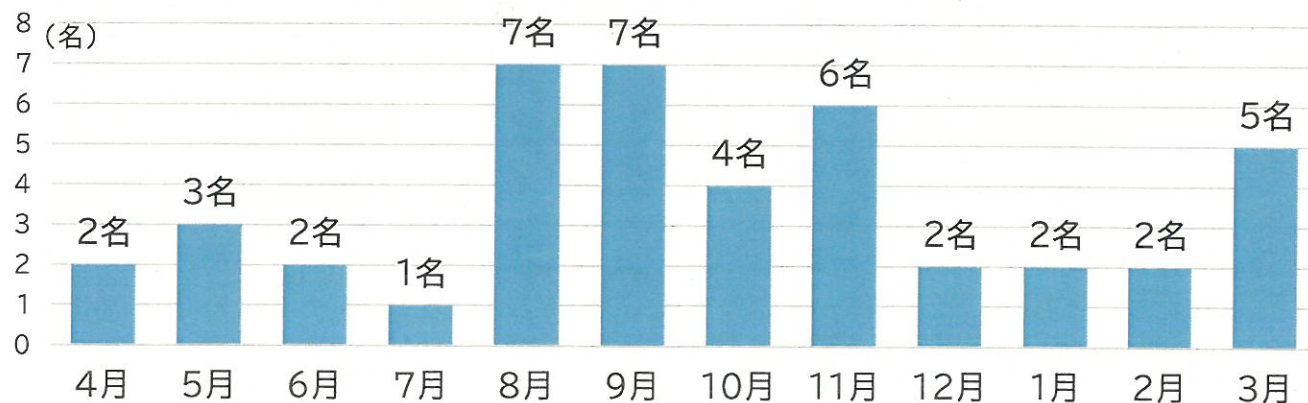
震災、水災、大規模な林野火災等の災害時には、地域の消防団員が活動し、メディアを通じて報道されています。こうした報道を通じて、**消防団への期待や関心が高まっている**と考えます。

【参考】令和7年度中に区内3消防団に入団した方(43名)

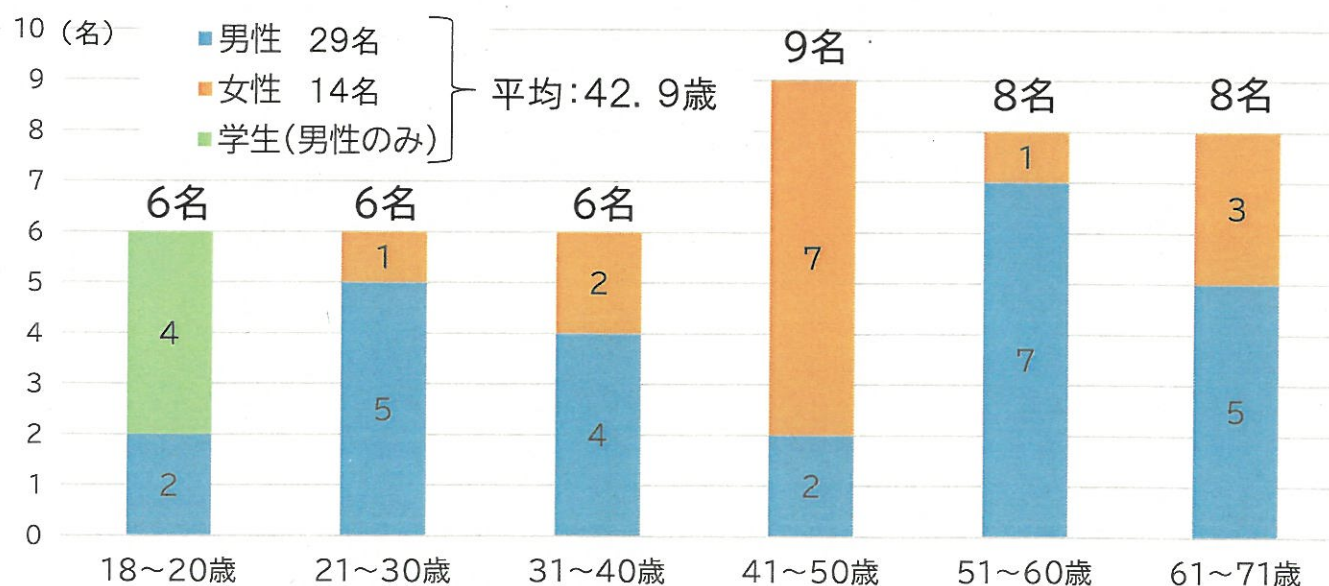
【入団の動機】(消防団事務局によるヒアリングの結果)



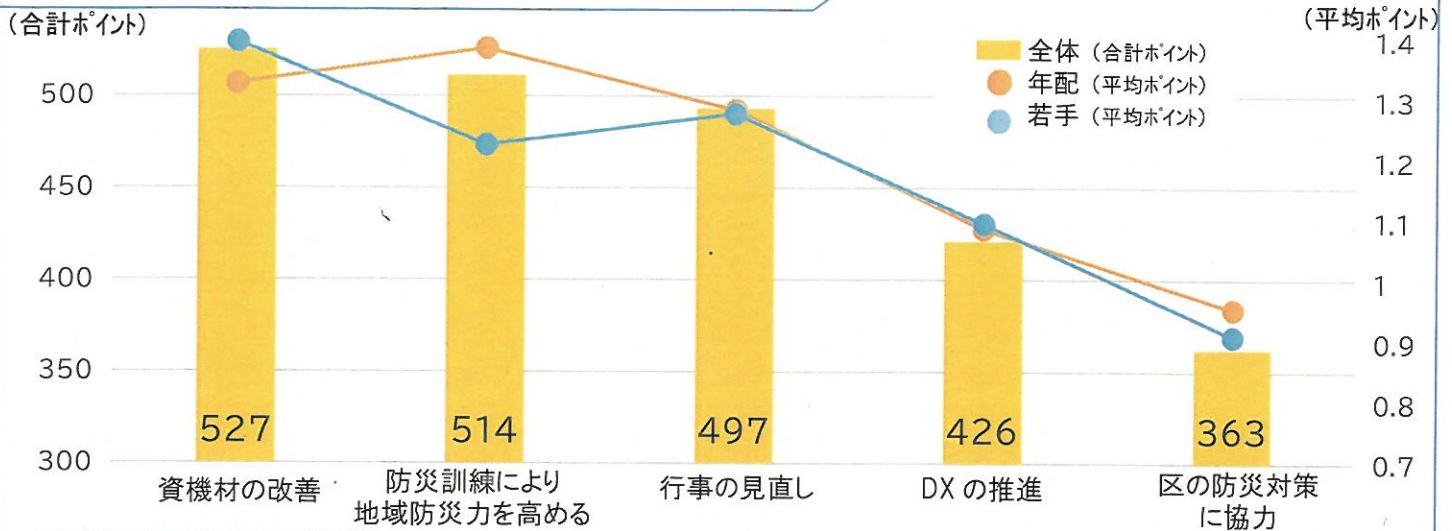
【入団した月】



【入団時の年齢・性別・学生別】



3 活動環境の最適化に有効な方法は？



自由意見

【行事の見直し関係】

- 三大大行事(始め式、操法大会、合同点検)をはじめとする行事の規模縮小、負担軽減 15名

【DXの推進関係】

- 翻訳機能、チャット機能、eラーニングへアクセスできるアプリの整備等のデジタル化の推進 9名

【アンケートの集計結果】

- 事務局が示した5つの方法は、いずれも「有効と感じる割合」が高い。
高い順に①資機材の改善、②防災訓練により地域防災力を高める、③行事の見直し、④DXの推進、⑤区の防災対策に協力
- 「資機材の改善」に関して若手の方が有効と感じる割合が高い。一方で「防災訓練により地域防災力を高める」、「区の防災対策に協力」といった間接的に消防団の活動環境の最適化に繋がる取組に関しては、年配の方が有効と感じる割合が高い。

【自由意見について】

○行事の規模縮小、負担軽減について

特別区のうち一部の地域では、消防団員の負担軽減を目的に消防団点検を行政区単位でなく消防団単位で行っています。

こうした取組の効果等を参考に、行事の規模縮小や消防団員の負担軽減策を検討していく必要があると考えます。



台東区三団合同点検

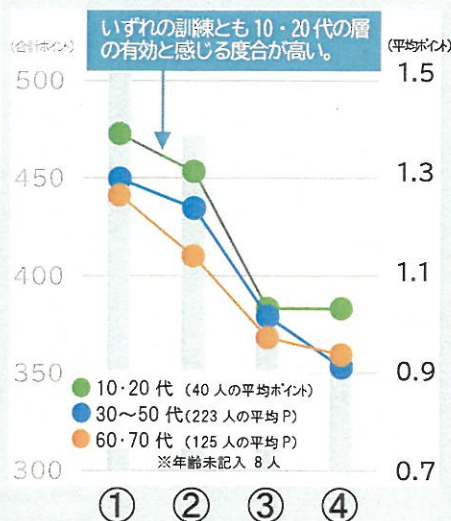
○翻訳機能、チャット機能、eラーニングへアクセスできるアプリの整備等について

消防団員間の情報共有だけでなく、消防団活動に活かすことのできる翻訳機能やeラーニング機能を備えたアプリの整備は、活動環境の最適化に寄与するものと考えます。

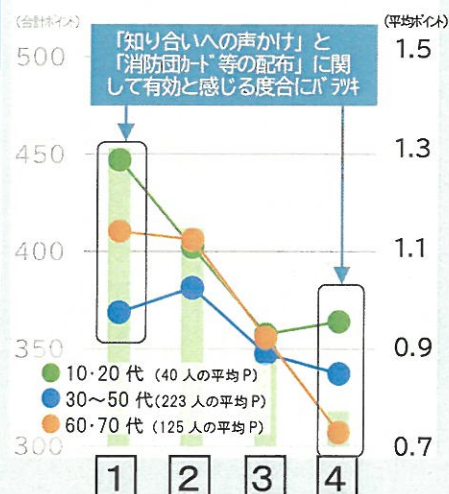
年齢・団員歴・性別による回答の傾向

災害活動力の強化に
有効な訓練方法は？

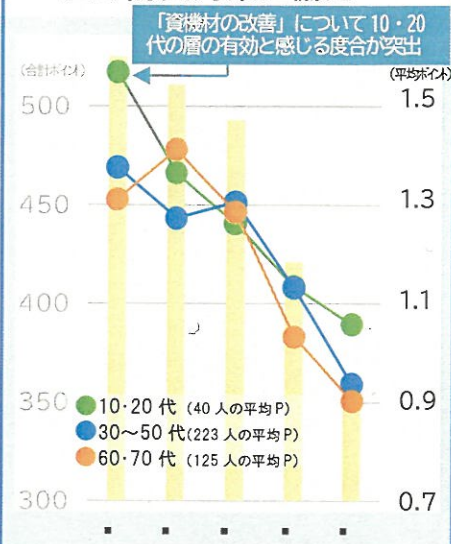
- ① 消防署との連携訓練
- ② 訓練施設を使った訓練
- ③ 消防団が企画する訓練
- ④ eラーニングを使った訓練

入団促進に
有効な方法は？

- ① 知り合いへの声かけ
- ② イベント等での募集広報
- ③ 「広報たいとう」等での広報
- ④ 「消防団カード」等の配布

活動環境の最適化に
有効な方法は？

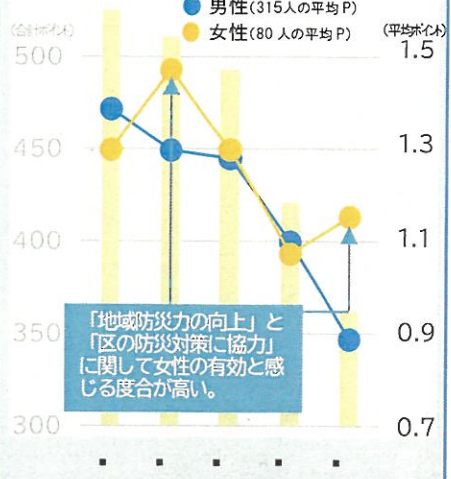
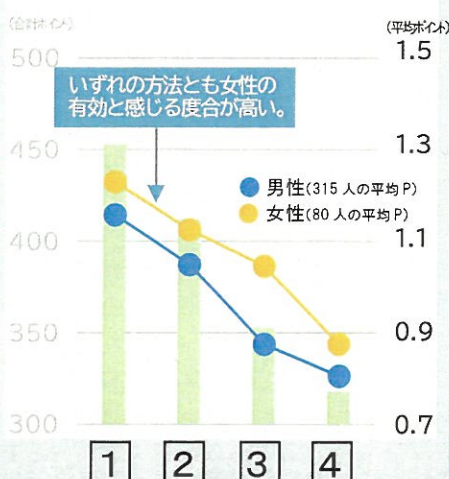
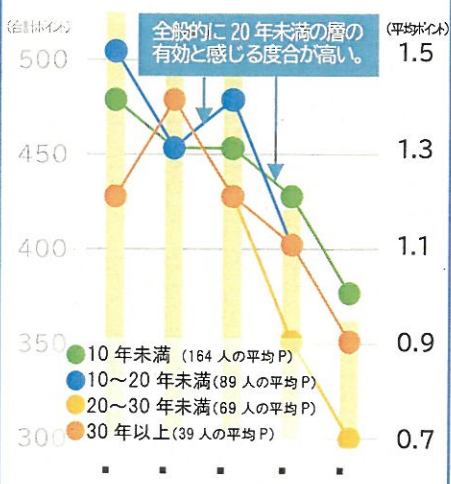
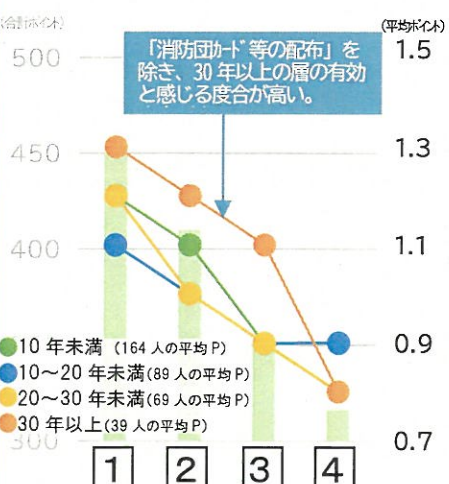
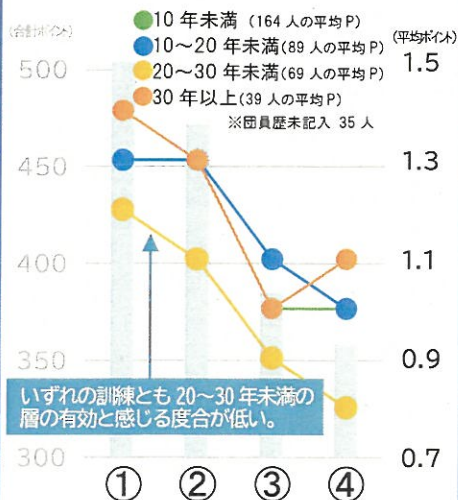
- ・ 資機材の改善
- ・ 防災訓練で地域防災力を向上
- ・ 行事の見直し
- ・ DXの推進
- ・ 区の防災対策に協力



年齢による傾向

団員歴による傾向

性別による傾向



台東区消防団運営委員会 答申骨子（案）

諮問事項

切迫する首都直下地震に備え、効果的な活動の実現に向けた
災害活動力の継続的な強化方策について（審議期間：R7.7～R9.3）

答申骨子(案)

方策1 訓練の実効性を高める

■ 実戦的な訓練を行う

- ✓ 消防署や町会等と連携
- ✓ 訓練施設や解体施設の活用
- ✓ 消防団が主体となり企画
- ✓ 過去の災害から得た教訓を活かす



■ 個々のレベルアップを図る

- ✓ eラーニングの活用を促進
- ✓ 車両や資機材の取扱訓練の機会を創出



方策2 効果的な入団促進を図る

■ 効果があり継続する取組

- ✓ 知人や同僚への声かけ（消防団員カード等を活用）
- ✓ イベントや行事等での広報・声かけ（ 〃 ）
- ✓ 「広報たいとう」などの広報媒体での広報



■ 効果が見込まれる取組

- ✓ SNSを活用した広報
- ✓ 消防団入団体験



方策3 活動環境を最適化する

■ 直接的な最適化

- ✓ 資機材の機能性・利便性の向上
- ✓ デジタル化の推進（消防団専用アプリ等の整備）
- ✓ 合同点検を始めとする行事の規模縮小や負担軽減の検討

フローティングストレナー



新型の防火衣



■ 間接的な最適化

- ✓ 防災訓練を通じ、地域防災力を高める
- ✓ 各種協議会等（帰宅困難者対策推進協議会等）へ参画し、震災対策の構築に協力



台東区三団合同点検

審 議 予 定

諮問	令和7年6月23日付 「切迫する首都直下地震に備え、効果的な活動の実現に向けた災害活動力の継続的な強化方策について」
----	---

<第一回台東区消防団運営委員会>

令和8年1月14日（水）	☐ 諮問事項の趣旨説明 ☐ 諮問に対する検討の方向性 ☐ 今後の審議予定
--------------	--



消防団員へのアンケート実施
検討内容の項目出し

<第二回台東区消防団運営委員会>

令和8年7月15日（水）	☐ 検討内容について協議 ☐ 答申骨子（案）の検討
--------------	--



答申案の作成

<第三回台東区消防団運営委員会>

令和9年1月13日（水） 10時30分からの予定	☐ 答申案の策定・承認（答申決定）
-----------------------------	---------------------------------------



答申期日：令和9年3月31日

アンケート集計結果

災害活動力の継続的な強化に向けたアンケート調査

消防団運営委員会において、「切迫する首都直下地震に備え、効果的な活動の実現に向けた災害活動能力の継続的な強化方策」について検討するために、団員の皆さまの率直なご意見をお聞かせください。

基準日：令和8年3月31日

性別 1 男性 315名 2 女性 80名 不明 1名

年齢 (平均 51.4)

団員種別 1 基本団員 361名 2 大規模団員 2名 3 機能別団員 8名
未回答 25名

階級 1 団長 2 副団長 3 分団長 4 副分団長 5 部長 6 班長 7 団員
3 16 23 46 78 73 156
未回答 1

団員歴 (平均 14 年 1 か月)

・ 災害活動力の強化に有効な訓練方法関係

1 次の(1)から(4)の訓練方法は、有効だと思いますか。

(1) 消防隊が使用する訓練施設を活用した訓練

1 非常に有効	164	41%		
2 有効	158	40%		
3 どちらともいえない	63	16%		
4 有効でない	9	2%		
5 まったく有効でない	1	0.2%	未回答 1	0.2%

(2) 消防署と連携した訓練

1 非常に有効	171	43%		
2 有効	173	44%		
3 どちらともいえない	44	11%		
4 有効でない	6	1.5%		
5 まったく有効でない	1	0.2%	未回答 1	0.2%

アンケート集計結果

(3) 消防団員が企画するなど、主体的に行う訓練

1	非常に有効	99	25%		
2	有効	200	50%		
3	どちらともいえない	79	20%		
4	有効でない	8	2%		
5	まったく有効でない	2	1%	未回答 8	2%

(4) 東京消防団 e-ラーニングシステムの動画教材を活用した訓練

1	非常に有効	85	21%		
2	有効	197	50%		
3	どちらともいえない	98	25%		
4	有効でない	7	1.7%		
5	まったく有効でない	0	0%	未回答 9	2%

*東京消防団 e-ラーニングシステムとは、消防団員個人のスマートフォン、タブレット及びパソコン等のインターネット環境下にある端末を利用し、下のような動画教材を時間や場所に捉われずに学習することができるツールです

【参考】東京消防団 e-ラーニングシステムの動画選択画面



2 上記(1)から(4)以外に有効だと思う訓練方法があれば記入してください。

【効果的な訓練方法】

- 町会や学校等との合同訓練 7名
- 過去の災害を踏まえた訓練 3名
- 解体建物を使った救助訓練 3名
- 車両や資機材の取扱訓練 3名

【e-ラーニングを使った訓練関係】

- e-ラーニングの動画教材の充実 2名

アンケート集計結果

・ 入団促進に有効な方法関係

1 次の(1)から(4)の入団促進方法は、有効だと思いますか。

(1) 知り合いや同僚などに声掛けし、入団を働きかける。

1 非常に有効	153	39%			
2 有効	158	40%			
3 どちらともいえない	76	19%			
4 有効でない	5	1.2%			
5 まったく有効でない	1	0.2%	未回答	3	0.7%

(2) 「広報 たいとう」など、発信力の強い広報媒体で広報する。

1 非常に有効	94	24%			
2 有効	193	49%			
3 どちらともいえない	82	20%			
4 有効でない	20	5%			
5 まったく有効でない	4	1%	未回答	3	0.7%

(3) 町会の定例会やイベントで消防団の魅力を発信する。

1 非常に有効	124	31%			
2 有効	182	46%			
3 どちらともいえない	75	19%			
4 有効でない	9	2%			
5 まったく有効でない	3	0.7%	未回答	3	0.7%

(4) 消防団の広報誌や消防団員カードを配布するなどして入団を勧める。

1 非常に有効	82	20%			
2 有効	182	46%			
3 どちらともいえない	105	26%			
4 有効でない	19	5%			
5 まったく有効でない	4	1%	未回答	4	1%

2 上記(1)から(4)以外に入団促進方法があれば記入してください。

【入団促進に有効な方法】

- SNSを活用した入団促進 22名
- 入団体験を通じ入団を促進 6名
- 町会等に働きかけ入団促進 5名
- 人出の多い場所での入団促進 3名
- メディアを通じた入団促進 2名

アンケート集計結果

・ 活動環境の改善に有効な方法関係

1 次の(1)から(5)の活動の効率化は有効だと思いますか。

(1) 団員証及び団員手帳の電子化や消防団員間の情報共有ツール(消防団アプリのようなもの)を整備する。

1 非常に有効	140	35%			
2 有効	156	39%			
3 どちらともいえない	86	21%			
4 有効でない	8	2%			
5 まったく有効でない	1	0.2%	未回答	5	1.2%

(2) 可搬ポンプ運搬車のコンパクト化や電動化など、様々な資機材の機能性及び利便性を高める。

1 非常に有効	190	48%			
2 有効	149	38%			
3 どちらともいえない	51	13%			
4 有効でない	0	0%			
5 まったく有効でない	1	0.2%	未回答	5	1.2%

(3) 合同点検や操法大会などの行事のやり方を工夫する。

1 非常に有効	182	46%			
2 有効	143	36%			
3 どちらともいえない	58	15%			
4 有効でない	6	1.5%			
5 まったく有効でない	2	0.5%	未回答	5	1.2%

(4) 防災訓練の指導を通じて地域防災力を高める

1 非常に有効	173	44%			
2 有効	174	44%			
3 どちらともいえない	40	10%			
4 有効でない	2	0.5%			
5 まったく有効でない	2	0.5%	未回答	5	1.2%

アンケート集計結果

(5) 台東区が推進する帰宅困難者や外国人に対する防災対策の検討に参画する

1	非常に有効	97	24%		
2	有効	189	48%		
3	どちらともいえない	88	22%		
4	有効でない	12	3%		
5	まったく有効でない	4	1%	未回答	6 1.5%

2 上記(1)から(5)以外に有効だと思うことがあれば記入してください。

【行事の見直し関係】

● 三大大行事(始め式、操法大会、合同点検)をはじめとする行事の規模縮小、負担軽減 15名

【DXの推進関係】

● 翻訳機能、チャット機能、eラーニングへアクセスできるアプリの整備等のデジタル化の推進 9名

以上でアンケートは終了です。
ご協力いただきありがとうございました。